「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称		蔵敷公民館事業費 [蔵敷公民館事業]									
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	4
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館		課		蔵敷公民館		係		課長名	伊藤 智	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2 ・ 5-3		
【施策名】生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書(ページ)	35・110		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				芋窪・蔵敷地区に居住する市民の数(令和3年4月1日現在) 公民館の利用は地域で制限するものではないが、近隣住民の数とした。						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
地域で、学習の場に参加できる。				①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(令和4年3月31日現在)							
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤蔵敷公民館だよりの発行				①利用者連絡会等開催回数(利用連・利用懇・陶利連) ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤蔵敷公民館だよりの発行回数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	10,162	10,269	10,366					
	成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	① 1,661 ② 17,672 ③ 52	① 403 ② 10,131 ③ 47	① 405 ② 11,108 ③ 39					
	目 標	②の目標値	①人 ②人 ③グループ	① 1,477 ② 20,807 ③ 53	① 1,661 ② 17,672 ③ 52	① 403 ② 10,131 ③ 47					
目標値設定の考え方											
コロナ禍における利用者の活動の自粛や事業の縮小を踏まえて、前年度の数値を維持する。											
活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	① 21回 ② 20回 ③ 4回 ④ 60.44% ⑤ 3回	① 16回 ② 25回 ③ 17回 ④ 45.22% ⑤ 3回	① 17回 ② 19回 ③ 10回 ④ 45.66% ⑤ 2回						
3 経費	事業費(実績)		円	8,546,706	7,247,282	7,060,305		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	8,291,099	7,131,552	7,022,265					
		特定財源(国・都・他)	円	255,607	115,730	38,040					
		(うち受益者負担)	円	81,607	28,730	38,040					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1.25	1.25	1.25					
		所要人数(再任用)	人								
職員人件費(再任用以外)		円	10,387,500	10,475,000	10,312,500						
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	18,934,206	17,722,282	17,372,805						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和53年度								
	(2) 環境の変化		昭和53年11月20日、市内4番目の公民館として開館、市民の生涯学習を目的としている。 平成27年10月からインターネットを利用した公共施設予約システム 令和2年3月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大及び拡大防止施策で、休館、利用人数制限、利用方法の制限、時間帯(夜間)の新規予約の制限等を実施。								

事業名称	蔵敷公民館事業費〔蔵敷公民館事業〕			
担当部署・課長名	中央公民館	課	蔵敷公民館	係 課長名 伊藤 智

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	<ul style="list-style-type: none"> 工夫された行事をされていると思います。特に子供達を楽しませる行事は良いです。 公民館を利用しているサークルは利用連に入るべきだ。 	
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）	
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：③⑤⑥（市報・市HP・ツイッター・こうみんかんだより・地区館だより）⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 利用者との日頃のコミュニケーションから、利用者の求めるニーズを察知し、事業の運営に取り入れていく。	
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）	
	地域のニーズや、事業の実施意義などを現在の状況と併せて再考し、継続実施されている事業（講座含む）が本当に今現在必要かを精査し、廃止や改革を行う。 事務処理の合理化を図り、重複は取りやめ、簡略化できる部分や、Excelの利用により合理的かつ効率的に処理できるようにしていく。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 <ul style="list-style-type: none"> アンケートを取り利用連のニーズを把握した。 事務処理の合理化のため、Excel等の利用により、施設予約システムのマニュアル化やグループカード入力システム等を作成した。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、事業実施時の消毒、検温、人数を分散して密を避ける等、感染症対策を講じて実施した。 	
8	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）	
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズを少しでも実現できるよう工夫していく。 Excel等で作成したマニュアルや入力システム等の改善を行う。 コロナ禍でも感染症対策を講じながら利用者が安心して参加できるよう努める。 	
8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）		
施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）	
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で業務が増加しており、他市の公民館運営を参考に事務処理の合理化、効率化に取り組む。 利用者のニーズを把握するため、引き続きアンケートをとる。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、購入した感染対策物品を活用するとともに、利用者に感染対策の周知徹底を図る。 	
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等	
<ul style="list-style-type: none"> 他市の公民館についてホームページや都公連の場を活用し、情報収集していく。 利用者懇談会を活用する。 利用者へのわかりやすい説明と感染拡大防止の協力を依頼する。 		